



稲刈りに一生懸命の子どもたち（広崎橋南の水田）

収穫の楽しさと喜びを実感

広崎1町内子供会が稲刈り体験学習

広崎1町内の子どもたちが10月21日、6月にみんなで田植えをしていた水田で、稲刈りを体験しました。

子どもたちは、水田を所有する菅野義明さん（広崎1町内）から、稲穂から白米になるまでの話を聞いたあと、専用の鎌を使って熱心に稲を刈り取っていました。

奥田菜椰子さん（広安西小6年）は、「自分たちが植えた苗が、こんなに大きくなっているとは思わなかった。刈り取るときの“ザクッ”という感触が気持ち良くて、とても楽しかった」と満面の笑みで話しました。

熱戦が繰り広げられた2週間

県民体育祭で上益城郡が総合5位

県民体育祭が9月8日から23日にかけて、熊本市など県下各地で開催され、20郡市から参加した約7,000人が日ごろの成果を発揮し、熱戦を繰り広げました。

上益城郡からは、30種目に参加。本町からも25種目に155人が出場し、女子ソフトボールチームが初優勝を果たすなど、同郡の総合5位入賞に大きく貢献しました。

28日には、女子ソフトボールチームの監督ほか3人が町長室を訪れ、「長年の念願だった監督の胴上げがなかった」（吉山秋代主将）など、喜びを語りました。



後列左から反時計回りに稲田忠則監督、山本忠敏コーチ、吉山主将、國岡愛選手



模型を前にラボのメンバーと活発に意見を交わす西村町長と職員

地元に着目して見えてきたもの

熊本大学ましきラボがまちづくりに提言

熊本大学ましきラボの教授や学生たちが、10月9日に役場仮設庁舎を訪れ、作成した県道4車線化の模型などを西村町長や役場職員に提示し意見交換を行いました。

また、人口ビジョンやこれまでましきラボが行ってきた活動や研究成果などを題材に、まちづくりや復興について幅広く意見交換をし、8月に県知事に提出された県道4車線化に対する提言書が西村町長に手渡されました。

今回提示された内容は交流情報センターミナテラスや、ましきラボでも閲覧することができます。

Best Smile
今月のベスト笑顔

